

## リンドウの補給型施肥による生育への影響

### 【1 成果の内容】

- (1) 補給型施肥として定植時のリン酸施肥量を従来施肥の1/20の1kg/10a、カリ施肥量を4kg/10aで栽培を行っても、定植年及び翌年春の生育は従来施肥と同等です(図1)。
- (2) 定植年のリン酸吸収量は根と茎葉を合わせても施肥量の1kg/10aを下回っています。
- (3) 2年目以降の開花期の草丈、花段数は補給型施肥を続けても従来施肥と同等です(図2、3)。



図1 「いわて夢のぞみ」定植年の生育状況

表1 施肥基準(N-P-K成分/10a)

|       | 定植年     | 2年目      | 3年目以降    |
|-------|---------|----------|----------|
| 従来型施肥 | 10-20-8 | 20-12-13 | 20-12-20 |
| 補給型施肥 | 10-1-4  | 20-3-13  | 20-6-20  |

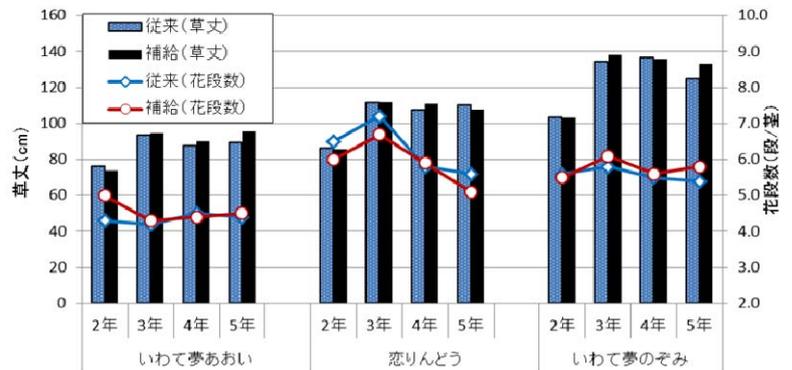


図2 2年目以降の開花期の生育

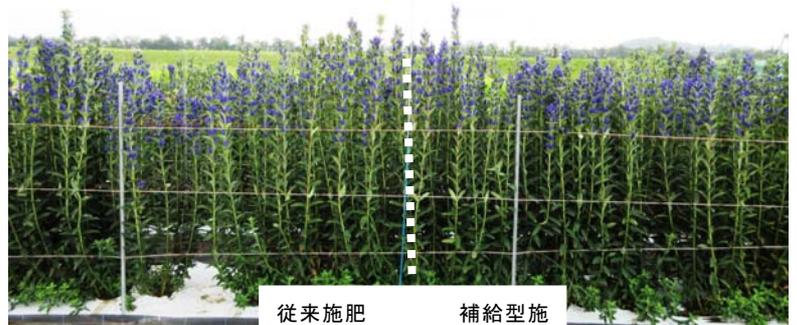


図3 「いわて夢のぞみ」定植5年目の開花期の様子

### 【2 活用上の留意事項】

- (1) 補給型施肥は土壌改良目標値に達した圃場で実施してください。目標値以下の場合は土壌改良を行った後、従来の施肥基準で施肥を行います。
- (2) 農研センター圃場のみの試験結果で、定植前に堆肥を2t/10aを施用しています。